

2012年上半期の国際収支から

8月8日に平成24年上半期中国際収支状況(速報)が発表されたので、概略を紹介する。

1. 経常収支の概要

経常黒字は、上半期で過去最少を記録

海外とのモノ、サービス、投資などの取引状況を総合的に示す経常収支は、3兆366億円の黒字(前年同期比▲2兆4,877億円、45.0%減)で、3期連続して黒字幅が縮小し、上半期として、統計を比較できる1985年以降、最少水準を記録し、減少率も最大であった。

主要因としては、貿易・サービス収支の赤字幅拡大と所得収支の黒字幅縮小が挙げられる。

経常収支

(単位: 億円)

項目	2011年上半期	2012年上半期	
		(P)	前年差
経常収支	55,243	30,366	-24,877
貿易・サービス収支	-10,768	-34,227	-23,459
貿易収支	-4,958	-24,957	-19,999
輸出	306,752	315,488	8,736
輸入	311,710	340,445	28,736
サービス収支	-5,812	-9,271	-3,459
所得収支	72,753	71,467	-1,288
経常移転収支	-6,743	-6,873	-131

2. 主要項目別の動向

(1) 貿易・サービス収支: 過去最大の赤字を記録

貿易・サービス収支は、▲3兆4,227億円の赤字(前年同期比▲2兆3,459億円)となった。

内訳の「貿易収支」と「サービス収支」の赤字幅がともに拡大したため、2011年下半期の▲2兆3,012億円より赤字幅が拡大し、1985年以降で過去最大の赤字を記録した。

①貿易収支: 3期連続の赤字

輸出から輸入を差し引いた貿易収支は、▲2兆4,957億円の赤字(前年同期比▲1兆9,999億円)となった。貿易収支は、現行統計で比較可能な1985年以降で過去最大の赤字となった。

輸出は、東日本大震災後の反動増もあり、自動

車を中心に増加し、31兆5,488億円(前年同期比8,736億円増、2.8%増)で、前年同期比で3期ぶりの増加になった。

輸入は、鉱物性燃料の価格上昇に火力発電用のLNGや原油の輸入増が加わり、34兆445億円(前年同期比2兆8,736億円増、9.2%増)で、前年同期比で5期連続して増加した。

②サービス収支: 赤字幅が2期連続で拡大

サービス収支は、▲9,271億円(前年同期比▲3,459億円)と、赤字幅が2期連続で拡大した。

サービス収支の内訳である「旅行収支」は、赤字幅が縮小したが、「輸送収支」の赤字幅が拡大し、「その他サービス収支」の黒字幅が縮小したことから、サービス収支全体として赤字幅は拡大した。

サービス収支

(単位: 億円)

項目	2011年上半期	2012年上半期	
		(P)	前年差
輸送	-4,269	-4,827	-558
旅行	-6,322	-5,524	798
その他サービス	4,780	1,080	-3,700
通信	-83	-54	29
建設	1,229	1,653	424
保険	-2,222	-3,386	-1,164
金融	439	591	152
情報	-1,218	-1,318	-4
特許等使用料	5,247	6,197	950
その他営利業務	1,187	-2,709	-3,896
文化・興行	-268	-435	-167
公的その他サービス	466	540	74
サービス収支	-5,812	-9,271	-3,459

(2) 所得収支: 黒字幅が4期ぶり縮小

配当金・配分済支店収益の支払の増加、債券利子等の受取減少により、所得収支は、7兆1,467億円の黒字(前年同期比▲1,288億円、▲1.8%)となり、黒字幅は4期ぶりに縮小した。

所得収支

(単位: 億円)

項目	2011年上半期	2012年上半期	
		(P)	前年差
雇用者報酬	-16	-42	-26
投資収益	72,770	71,509	-1,261
直接投資収益	20,494	21,416	922
証券投資収益	48,801	46,564	-2,237
その他投資収益	3,474	3,529	55
所得収支	72,753	71,467	-1,288

(調査グループ 関谷裕介)